

憲法しんぶん速報版

第 158 号

2007 年 4 月 3 日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

改憲手続法はいらないの世論広げつつ

憲法施行60年の憲法集会成功を

憲法会議は4月2日、全国総会後初の担当常任幹事会を開き、総会で確認した方針の具体化に向けて動きだしました。当面、改憲手続法を許さないたたかいをさらに大きく広げながら、憲法施行60周年の憲法集会の成功に向けて全力をあげてことを確認しあいました。

学習・宣伝で独自の活動も

担当常任幹事会では、自民党が4月12日の委員会採決をめざして動き出している改憲手続法案について論議、まだ国民の多くにその意味することが知られていないとして、九条改憲につながる法案との宣伝を広げつつ、議面集会や日比谷野外音楽堂での集会を成功させていくことを確認しました。

また、第二次アーミテージ報告やミサイル防衛に関する最近の動きを重視し、学習・宣伝の資材を系統的に提供するなど独自の役割を発揮していくことも申し合わされました。

事務局長に2氏を選任

担当常任幹事会では、全国総会での確認にもとづき、長谷川英俊、平井正

「昭和の日」を考えるつどい

かつての「天皇誕生日」で昭和天皇が死去した後「みどりの日」とされていた4月29日が、今年か「昭和の日」になります。昭和天皇の復権をはかるこの「祝日」の意味について考えます。

◇と き 4月28日(土)

13時30分から16時30分

◇ところ 豊島区産業プラザ

◇報告

「昭和の日」制定の経過と背景

歴教協委員長 石山 久男

宗教者からみた「昭和」

宗平協事務局長 石川 勇吉

昭和天皇とその時代

一橋大学名誉教授 中村 政則

◇参加費 500円

の2氏を新事務局長に選任しました。ともに事務局に専従します。

5・3集会成功へ急ピッチ

憲法会議など広範な憲法団体が実行委員会をつくって開く「5・3憲法集会」は、今年で7回目を迎えます。ちょうど憲法施行60年の憲法記念日であるとともに、国会では改憲手続法案をめぐる攻防が緊迫しているなかでの憲法記念日となるため、実行委員会では例年を上まわる規模での成功をめざしています。

《名称と開催要項》

生かそう憲法 守ろう9条 改憲手続
き法はいらない

2007年5・3憲法集会&パレード

日時 5月3日

会場 日比谷公会堂

(第2会場あり)

《第1部憲法集会》

◇スピーチ

植野妙実子 中央大学教授

浅井基文 広島平和研究所所長

福島みずほ 社会民主党党首

志位和夫 日本共産党委員長

◇歌&コント

オオタスセリ

《第2部パレード》

銀座大パレード

各界から期待のメッセージ

(5・3憲法集会のチラシから)

◎小山内美江子(脚本家)

「安心」とは、それがどれほど大切でありがたいものか、意識もせずに暮らせたのは、憲法九条のおかげです。それを一旦改悪すれば、私たちだけではなく世界の人々から「安心立命」は

民主党・枝野幸男氏のぼやき

地方公聴会の感想ですが、全体として受けとめましたのは、安倍晋三君のせいで日本の憲法議論は15年ぐらいい後退したなという印象であります。つまり、本来、憲法の議論というのは9条だけではない。9条についても、いろいろな方向での改正の方向性がある。国民投票法制については、改憲するとかしないとかということと全く関係なく、客観的、中立的につくらなければならない。こういう方向で、憲法調査会発足以来、7、8年ぐらいい積み重ねてきて、ようやくそういう方向での認識が広まりつつあった中を、ことしの1月以降の安倍晋三君の発言がぶち壊してしまった。15年ぐらいい日本の憲法の議論は後退したというふうに印象として受け止めています。(3月29日、衆議院憲法調査特別委員会での発言)

消えて、安全が破壊されます。だからこそ守り抜かなければ、第二次大戦で殺されていった人とこれから育つ世代に申し訳がたちません。

◎ジャン・ユンカーマン(映画監督)

日本国憲法を世界的に見れば、未だに斬新で前衛的です。21世紀の今、武力で国際問題を解決する戦略は時代遅れです。イラク戦争でも明らかなように戦争は残酷なだけではなく、無駄で無意味です。60年前、日本の市民はそれを悟りました。憲法9条の知恵を世界に広げる——それが日本にとって唯一の真の「国際貢献」と思います。